

平成 25 年度 核磁気共鳴装置講習会参加報告

自然科学系技術班 鎌田 浩子
化学・材料系技術班 藤岡 昌治

主 催：国立大学法人広島大学

研修期間：平成 25 年 8 月 5 日（月）～8 月 6 日（火）

研修会場：広島大学 自然科学研究支援開発センター 低温・機器分析部門

1. はじめに

この講習会は、中四国の各国立大学に所属する技術職員を対象に、核磁気共鳴 Nuclear Magnetic Resonance (以下 NMR) 測定装置関連の技術支援の向上を目的として開催された。主催は広島大学研究設備サポートであり、同組織は研究設備の有効活用および学内外の利用者による研究設備の共同利用に係るマネジメントを行っている。

2. 報告事項

講習会は株式会社 JEOL RESONANCE から内海博明氏・坪野浩二氏を講師として迎え、二日間にわたって行われた。一日目は ^1H 核・ ^{13}C 核 NMR 測定を基本とした一次元及び二次元 NMR 測定に関する最新の溶液 NMR 測定技術について、その原理および測定結果の見方について説明を受けた。また、近年実用化が急速に進みつつある固体 NMR についても、溶液 NMR にはない特徴的なプローブの仕様等詳しく説明して頂き、知識を得ることができた。二日目は広島大学が保有する FT-NMR 装置を用いて、実際にサンプルのセットから信号の解析まで NMR 測定の一連の流れを実習した。

3. おわりに

NMR 測定装置の開発に携る専門家の方から、最新の NMR 測定手法について丁寧に解説をいただき、非常に勉強になった。報告者は今後 NMR 測定装置を使用していく予定であり、この経験を業務に活かしていきたい。

また、講習会開催期間中にお会いした技術職員や教員の方達との交流は、自身の職務を省みる良い機会となり、工学技術の習得を目指す身にとって貴重な人事交流の場となった。

謝辞：広島大学研究設備サポート関係者の皆様、並びに講習会参加を認可していただいた本学関係各位に多大な感謝を申し上げます。



写真-1 東広島キャンパス